

(西暦) 2016年3月9日

【食道癌】の【手術】のため当院に入院・通院されていた患者さんの 診療情報を用いた臨床研究に対するご協力をお願い

研究責任者	所属	外科学	職名	准教授
	氏名	竹内裕也		
	連絡先電話番号	03-3353-3802		
実務責任者	所属	外科学	職名	准教授
	氏名	竹内裕也		
	連絡先電話番号	03-3353-3802		

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、竹内裕也または担当医までご連絡をお願いいたします。

1 対象となる方

【外科学(一般・消化器)】にて【食道癌】の【手術】のため【入院】した方

2 研究課題名

食道癌術前評価における気管支動脈3次元CT血管造影の有用性の調査

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部【外科学(一般・消化器)】

4 本研究の意義、目的、方法

食道癌の手術治療は侵襲が大きく、手術中や手術後の合併症を避けることは重要な課題です。特に重要な合併症として肺炎などの呼吸器の合併症がありますが、過去の研究の結果から気管支を栄養する左右2本の気管支動脈が両方損傷されると呼吸器の合併症がおこりやすくなることがわかっています。手術の際、癌の転移の治療や予防のために気管の周囲のリンパ節を郭清致しますが、この領域に存在する気管支動脈の走行には個人差があるため手術時に傷つけないように注意が必要です。

食道癌の患者様の手術前にはCT検査を行い原発巣や転移の状態を調べます。私たちは2009年10月からCT画像をコンピューターで処理して気管支動脈を3次元画像で描出する気管支動脈3DCT血管造影を同時に行っています。従来の血管造影は大腿部などの血管を穿刺して造影剤を注

入する方法でしたが、この CT 血管造影は CT 画像の処理によって血管を描出するため患者様への侵襲が少なく、近年様々な領域において広く用いられ始めています。また CT 画像である点から、血管と他の周辺臓器との位置関係がわかり易いという長所も併せ持っています。

この研究は、気管支動脈 3DCT 血管造影の有効性を確立し、食道癌手術成績を向上させることを目的としています。

5 協力をお願いする内容

本調査におきましては、対象となる方の、年齢、身長、体重、性別等の情報、癌の進行度（食道癌の場合のみ）、術式、術後合併症、術後経過、CT 画像に関しまして、診療録などの記録を参考に調査致します。従いまして、皆様に新たなご負担をおかけすることはありません。

6 本研究の実施期間

倫理委員会承認後～ 2024 年 3 月 31 日（予定）

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第 3 者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

住所：〒160 - 8582 東京都新宿区信濃町 35 番地

電話：03-5363-3802

担当者：慶應義塾大学医学部 外科学教室(一般・消化器) 竹内裕也

受付時間：平日午前 9 時から午後 5 時

以上